

各 位

会社名 日置電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岡澤 尊宏
 (コード番号 6866 東証プライム)
 問合せ先 取締役専務執行役員最高財務責任者 (CFO)
 兼 総務部長 巢山 芳計
 (TEL 0268-28-0555)

連結業績予想との差異に関するお知らせ

2023年1月25日の決算短信で公表いたしました、2023年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績値との差異(2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,450	3,970	4,040	3,040	222.69
実績 (B)	20,334	4,545	4,731	3,447	252.45
増減額 (B - A)	884	575	691	407	
増減率 (%)	4.5	14.5	17.1	13.4	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	15,882	3,140	3,401	2,503	183.40

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、脱炭素化に向けた世界各国の取り組みを受け、バッテリー、エネルギー市場関連の計測器需要は引き続き高い状態で推移するとともに、海外を中心に幅広い地域で好調に推移いたしました。また、部品欠品による一部製品の出荷停止状況の解消、本社工場における増床・増築による生産能力強化を受けて、連結売上高は引き続き過去最高の水準となっております。一方、売上原価や人件費、経費が増加いたしました。それを上回る売上高の増加により、利益面でも前回公表した業績予想を上回る結果となりました。為替相場が円安に推移したことも、増収増益要因となっております。

なお、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発するエネルギー価格の高止まり、各国の金融引き締めに伴う景気の減速見通しなど、当社グループを取り巻く環境は不確実性が高く、第3四半期連結会計期間以降の国内外の販売状況を精査した結果を踏まえ、通期業績予想につきましては、前回公表の業績予想数値及び配当予想を変更しておりません。今後の状況の変化により連結業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに公表いたします。

以上